

◆アルザ de シネマ

「ママをやめてもいいですか!？」

日時：令和4年8月27日(土) 14:00~15:45
会場：万代市民会館 6階 多目的ホール
定員：抽選 140人
対象：小学生以上
保育：先着 15人(生後6か月から就学前まで)
申込：8月10日(水)までに「かんたん申込み」



映画『ママをやめてもいいですか!?!』HPより

または電話 ※締切間近
・「かんたん申込み」はこちらから
・電話での申込み先：新潟市役所コールセンター ☎025-243-4894 (受付時間 8:00~21:00)

◆相談に携わる方のための講座

取材現場から見た、生きづらさを抱えた女性たちの現状について考えます。
講師：大久保 真紀さん(朝日新聞 編集委員)
日時：令和4年9月3日(土) 13:30~15:30
会場：万代市民会館 4階 403・404 大研修室
対象：各種相談に携わっている方(優先)、関心のある方
詳細が決まり次第、アルザにいがたホームページやメール配信「アルザ情報」でお知らせします。

アルザにいがたホームページ



◆アルザフォーラム 2022

11月5日(土)~11月13日(日)に開催します!
詳細が決まり次第、アルザにいがたホームページやメール配信「アルザ情報」でお知らせします。

※講座は新型コロナウイルスの感染状況により、形式を変更しての実施や中止になる場合があります。

メール配信「アルザ情報」

講座情報等を月1回のペースで配信しています!ぜひご登録ください。



alza@city.niigata.lg.jp

←件名を「アルザ情報希望」としメールを送ってください♪
本文は不要です。受信後、確認の返信メールを送付します。
土日及び祝休日を除き、3日後までに届かない場合は、お手数ですがアルザにいがたまでご連絡ください。



企画中の講座、ツイートしています。



現在、3つの講座を市民の企画委員さんと共に企画しています。企画会議の様を、Twitterに投稿していますので、ぜひご覧ください♪どんな講座になるのか、お楽しみに!

情報図書室より

アンコンシャス・バイアスに関する本をご紹介します



あなたにもある無意識の偏見 アンコンシャスバイアス
北村 英哉/著 河出書房新社

人間関係に影響を与える「無意識の偏見」。自分自身は気づいていない「歪んだ思い込み」からおきた失言や放言を具体的に例示しながら、偏見を生み出す心理や背景を分析し、どのように解決していくべきかをわかりやすく論じています。



早く絶版になってほしい #駄言辞典

日経 xwoman/編
日経 BP(発行), 日経 BP マーケティング(発売)

育ってきた環境や教育によって植え付けられた古い考えから生まれたひどい発言を「駄言(だげん)」と名付け、イラストを交えて腹立たしい駄言の数々を紹介しています。いつかこの本の必要がなくなり、多くの人々が自分らしさを尊重できる社会になってほしいという編集者たちの思いが込められています。



失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック
新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム/著 小学館

偏見や男尊女卑、性別役割分業など、メディアが無意識に刷り込む影響は大きい。この本は、現役の新聞記者たちが、ジェンダー表現について改めて見直し、読者に気づきを与えてくれます。SNS など誰しもが発信者となる時代にジェンダー表現の手引きとなる一冊です。



差別はたいてい悪意のない人がする
見えない排除に気づくための10章
キム ジェ/著, 尹 怡景/訳 大月書店

差別と偏見はありふれた日常に存在し、私たちは知らず知らずその意識に染まり、意図せず差別や偏見を犯す可能性があるとして述べています。韓国社会の差別や人権問題を歴史と共に取り上げており、自分のこととして考えるきっかけを与えてくれます。



アルザにいがた情報図書室は、
新潟市立図書館のカードで貸出ができます。

開室時間：月曜~金曜 10:00~17:30
休室：土日及び祝休日、第1水曜、第4月曜、年末年始、蔵書点検期間



知っていますか?
アンコンシャス・バイアス
(無意識の思い込み)

- 女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない…?
- 組織のリーダーは男性の方が向いている…?
- お茶くみは女性がする方が良い…?
- 男性は人前で泣くべきではない…?
- 女性は感情的になりやすい…?



2022年7月 vol.51

アルザにいがた

発行/新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」
新潟市中央区東万代町9-1 万代市民会館内
電話：025-246-7713 8:30~17:30 土日及び祝休日を除く
URL: https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/alza/
E-mail: alza@city.niigata.lg.jp



「アルザ」は、「志気を高める」、「高揚」という意味のスペイン語の「alza(アルサ)」が語源。開館5周年の公募で決定、センターが男女共同参画について意識を高める場であってほしいという願いが込められています。



アルザにいがた Twitter
講座情報や新着図書情報、職員が日常で感じたジェンダーに関することをつぶやいています。コメントやいいね、お待ちしております♪



情報紙のご意見・ご感想をEメールでお寄せください。



知っていますか？アンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスは日常にあふれています。無意識のうちに偏ったものを見方をしていることがあるかもしれません。

◆アンコンシャス・バイアスとは

「アンコンシャス・バイアス」という言葉を聞いたことはありますか？ネットの記事や新聞などで目にする機会が少しずつ増えてきています。アンコンシャス・バイアスとは、日本語で「無意識の偏ったもの見方」のことで、他にも、「無意識の思い込み」「無意識の偏見」などと表現されることもあります。私たちは過去の経験や見聞きしたことに影響を受けて、知らず知らずのうちに、偏ったもの見方をしていることがあります。ここでは、性別によるアンコンシャス・バイアスについてご紹介します。

こんなことを聞いたり、考えたりしたことはありませんか？
「男性は女性より車の運転が上手」、「デートや食事代は男性が負担すべき」、「性別で向いている仕事役割がある」など



◆アンコンシャス・バイアスの何が問題なのか？

アンコンシャス・バイアスは、日常にあふれていて、誰にでもあり、それ自体に問題があるわけではありません。無意識なものなので、日常のささいな言動に現れ知らず知らずのうちに、相手を傷つけてしまうことや、自分自身の可能性を狭めてしまうことがあるため、注意が必要です。私たちの中には性別によるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）はどれくらいあるのでしょうか。

◆世代や性別によるアンコンシャス・バイアスの意識の差

内閣府男女共同参画局が令和3年度に「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」の結果を公表しています。「家庭・コミュニケーションシーン」と「職場シーン」での性別役割、その他性別に基づく思い込みの36の測定項目について、自分の考えや経験を聞いて、世代によるアンコンシャス・バイアスの意識の差などを調査しています。調査対象：20代から60代までの10,330人（男性5,069人、女性5,165人、その他96人）

詳しい調査結果は内閣府男女共同参画局 HP をご覧ください。
https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html

【性別役割意識（全体）】

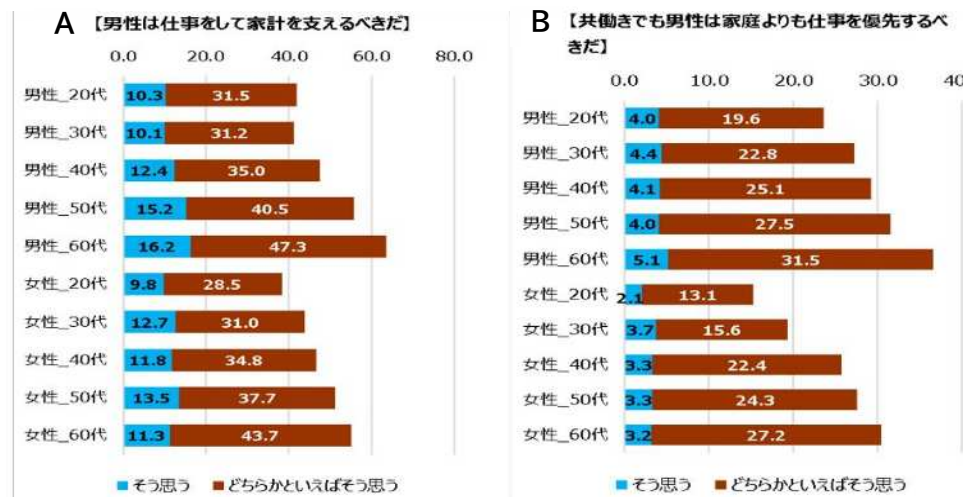
（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計）
男女両方で上位10位に入っている項目

男性 上位10項目	回答者数: 5,069 (%)	女性 上位10項目	回答者数: 5,165 (%)
1 女性には女性らしい感性があるものだ	51.6	1 女性には女性らしい感性があるものだ	47.7
2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	50.3	2 男性は仕事をして家計を支えるべきだ	47.1
3 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	37.3	3 女性は感情的になりやすい	36.6
4 女性は感情的になりやすい	35.6	4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	30.7
5 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	31.8	5 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	23.8
6 男性は人前で泣くべきではない	31.0	6 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病すべきだ	23.2
7 男性は結婚して家庭をもって一人前だ	30.3	7 家事・育児は女性がするべきだ	22.9
8 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	29.8	8 組織のリーダーは男性の方が向いている	22.4
9 家事・育児は女性がするべきだ	29.5	8 大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい	22.4
10 家を継ぐのは男性であるべきだ	26.0	10 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	22.1

性別役割意識について、上位10項目を男女で比較すると、全体的に男性の方が高い割合でした。測定項目全体の中で男女差が大きく開いたのは、「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」（男性37.3%、女性22.1%）、「男性は人前で泣くべきではない」（男性31.0%、女性18.9%）などといった「男性は～すべきだ」の4項目でした。

（出典：内閣府男女共同参画局）

【性別役割意識（性・年代別）】



A「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」、B「共働きでも男性は家庭より仕事を優先するべきだ」を性・年代別で見ると、男性でも年代間で大きな意識の差が見られ、男性50-60代で性別役割意識が強い結果でした。Aの項目は女性でも年代が高いほど性別役割意識が強い結果でした。また、Bの項目は20-30代の若い世代にも男女の意識に差があり、男性の方が高い割合となっています。アンコンシャス・バイアスは世代による意識の差や同世代でも性別によって違いがあることがわかりました。



◆まずは自分の思い込みに気づくことが大切

男女共同参画の取組の進展が未だに十分でない要因の一つとして、社会全体において固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が存在していることが挙げられています。自分では当たり前と思っていたことが他人とは違うかもしれません。まずは、自分自身の発言や認識の中にアンコンシャス・バイアスが潜んでいないか、少し立ち止まって考えてみるのが大切です。日頃の自分の行動に潜む無意識の思い込みに気付くことが男女共同参画社会への重要な一歩となるはずですよ。

活躍する女性をご紹介します⑬

今回は、新潟市南区で地域の魅力を掘り起こし、発信している地域おこし協力隊「みなみーで地域応援隊」の前田紗織さんをご紹介します。



【PROFILE】

新潟市出身。関東への大学進学を機に観光業界に興味を持ち、都内の旅行会社へ就職。9年間勤めた後、2020年4月に地元新潟市へUターン。新潟市南区地域おこし協力隊として、観光を切り口に南区の情報発信を行っている。

■「地域おこし協力隊」として活動するようになったきっかけを教えてください。

地元新潟の魅力を発信し、南区への誘客に挑戦したいと思ったためです。旅行会社で勤務していた時は、旅行の受付（コールセンター）、ツアー企画、手配、添乗を経験し、旅行が大好きな私にとって、とても充実した生活でした。このまま旅行会社で勤務を続けるという選択肢もありましたが、「いつか地元新潟に帰りたい」という気持ちと、「新しいことに挑戦したい！」という思いから、Uターンを決意しました。旅行会社での経験を活かし、観光を切り口に「地元新潟へ人を呼びたい！」という想いを胸に職を探し、地域おこし協力隊という仕事に出会いました。現在は観光という切り口で新潟市南区の魅力を発掘・発信しています。

■地域おこし協力隊「みなみーで地域応援隊」の活動内容を教えてください。

新潟市南区の魅力発信を通して、地域の方々と南区に興味を持つ方々を繋げる活動をしています。具体的には、オンラインを活用した交流の場を立ち上げ、「南区オンラインコミュニティ」と名付けて運営しています。このコミュニティでは、「南区の魅力を発信するツールの開発」や「ぶどうから作る南区ワイン作りへの挑戦」など様々なプロジェクトが巻き起こっています。南区を切り口に南区内外の方々が交流し、一つの目標に向かって楽しく活動することで、そこから新たな発見や繋がりも生まれています。南区内外の方から「今まで南区ってよくわからなかったけど、前田さんのおかげでとても魅力的な地域ということを知った！」、「南区にこんな素敵なお店があったんだ！」という嬉しい声もあり、私自身とても楽しく活動しています。

■これからやってみたいことを教えてください。

新潟市南区の方々の「やりたいことの実現」や「悩み解決」のきっかけを提供したいです。活動を通じて南区には素敵な方々がたくさんいて、その方々が魅力的な地域を作っていることを実感しました。そのような素敵な方々に対して私にできることは何かと考えると、地域内外の人と人を繋げることだと思っています。第三者目線を活かして南区の魅力を外へ発信し、興味を持ってくださった方と地域の方との交流の場を設けることで、地域の方々へ新たな発見や繋がりを提供したいです。私自身「人と人の交流」が大好きです。自分の「好き」や「やりたいこと」が地域の方々にも役立てられるよう、これからも明るく元気に楽しく！をモットーに活動します。